

議員発案第3号

年金2.5%削減中止を求める意見書

上記の議案を次のとおり提出する。

平成25年 6月28日

提出者	加茂市議会議員	田 沢 弘 一
賛成者	同	亀 山 重 光
	同	森 山 一 理
	同	高 橋 禧 雄
	同	関 龍 雄

平成25年 7月 3日議決

加茂市議会議長 安 田 憲 喜

年金2.5%削減中止を求める意見書

国会は、昨年2.5%の年金削減を伴う国民年金法の一部改正など、国民生活に直結する重要法案を成立させました。

その中でも、とりわけ年金2.5%削減の実施は、深刻な不況と生活苦の中にある高齢者の生活を圧迫し、悲惨な結果を招くことが危惧されます。

年金は、自治体の高齢住民に直接給付される収入で、特に大都市を離れた地域では、その削減は地域経済に大きな影響を及ぼすとともに、消費を冷え込ませ、不況を一層深刻にし、国の経済にも負の影響を与えることが懸念されます。

さらに、いま準備されているデフレ下のマクロ経済スライドの実施など、限りない年金削減の流れに道を開くものになり、若者を中心に年金離れが一層進み、年金制度への信頼はさらに低下することが懸念されます。

このような事態を踏まえて、高齢者の生活と地域経済を守るために、下記の事項について要望するものです。

記

1. 「年金2.5%削減」を中止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成25年 7月 3日

加茂市議会議長 安田 憲 喜

内閣総理大臣
厚生労働大臣 様